

## 町民会議と登録制度を活用したSDGs取組推進支援について

福島県桑折町 × 福島信用金庫

### 取組概要

桑折町と福島信用金庫、三井住友海上火災保険株式会社の3者で地域のSDGs取組を進めるべく2021年5月に「地方創生SDGsに関わる包括連携協定」を締結。その後、地域コンソーシアムと登録制度を立ち上げ、地域のSDGs取組を推進した。



包括連携協定の協定式の様子



桑折町SDGs推進町民会議設立総会の様子

### 基本情報

代表地方公共団体	福島県桑折町
代表民間団体	福島信用金庫
他の連携団体等	三井住友海上火災保険株式会社
カテゴリ	文化・コミュニティ対策
事業費	(町民会議設立総会の開催費用)
めざすSDGsゴール	
事業化までの期間	

### 取組内容



「ふくしまSDGs博」の様子



「ふくしまSDGs博」の様子

この取組で解決した課題	桑折町は「献上桃の郷」で有名な桃を中心とした農業が盛んな地域ですが、少子高齢化と人口減少が大きな課題となっており、人口減少を食い止める住民が住み続けられる魅力あるまちづくりを進める必要があります。そのためには地域経済の活性化と住みたいと思える住環境や職場作りが不可欠であり、その実現を目指す取り組みの一つとしてSDGsの推進を掲げ、全町的な取り組みとすべく地域コンソーシアムである「桑折町SDGs推進町民会議」を設立し、教育・福祉機関から各種商工団体、消防団などの自治団体を含め多様な主体を巻き込むことに成功。その後、「桑折町SDGs登録制度」を立ち上げ、企業・団体等の登録推進を進め、具体的な取り組みの後押しを進め、加盟団体の取り組み発信などを実現することが出来た。
解決に向けた手法	桑折町は福島信用金庫と三井住友海上火災保険株式会社との3者間で、2021年5月に「地方創生SDGsに関わる包括連携協定」を締結。その後、SDGsの具体的な取り組みを推進していくため、2022年4月に地域コンソーシアムである「桑折町SDGs推進町民会議」を設立。本会議は個人・法人を問わずSDGsの取り組みを全町的に推進していくために設立したものであり、教育・福祉機関から各種商工団体、消防団などの自治団体を含め計164者の参加が実現した。また、参加者からは主体的なSDGsの取り組みを導き出すことに成功し、2022年9月に参加した「ふくしまSDGs博」(福島民報社主催)では町民会議のメンバーが使用済みのポスターやカレンダーを再利用し、エコバッグを作成する取り組みを披露し、メンバー間での「つながり強化」に寄与した。

## 取組詳細

事業推進上の各団体の役割分担	桑折町：「桑折町SDGs推進町民会議」と「桑折町SDGs登録制度」の運営。取組内容の周知活動。 福島信用金庫：各種取り組みへの支援と、主に企業を中心に資金面で取り組みを支援すべく「ふくしんSDGsサポートローン」を提供。 三井住友海上火災保険株式会社：「桑折町SDGs登録制度」設立へ向けたノウハウ提供と各種取り組みへの支援。
地域関係者との連携方法	地域経済の活性化と住みたいと思える住環境や職場作りを目的に、「桑折町SDGs推進町民会議」では教育機関から各種商工団体、消防団などの自治団体を含め多様な主体を巻き込むことに成功し、参加者は個人と企業・団体を含め計64者となっている。 また、「桑折町SDGs推進町民会議」の参加者を対象とした「桑折町SDGs登録制度」については、現在12団体・企業より参加の申し込みを受けている。
資金調達方法	町からの補助
資金調達方法の補足	上記補助金には、町の取り組みの一環である、アルミ缶のリサイクルにより得られる歳入を充当している。
事業推進上の課題・工夫	本取組支援については、幅広い主体を巻き込んだ地域のコンソーシアムである「桑折町SDGs推進町民会議」と「桑折町SDGs登録制度」の二段構えとすることで、企業・団体のみを対象とした制度とせず、住民を巻き込む体制作りとした点。 今後の推進に際しても、「桑折町SDGs登録制度」に登録した企業・団体の取り組みを「桑折町SDGs推進町民会議」にて紹介する等の取り組みを計画しており、そのような取り組みを通じてさらなるコミュニティの活性化を図っていくことが課題。

## 担当者のコメント

「SDGsの推進って、自治体職員として何をしたらいいだろう」、そんな不安も抱えながらスタートした本事業。ここ数年でテレビでもよく見かけるようになりましたが、まずは住民の認知度を把握しておこうと、町民アンケートを実施しました。すると、「言葉は聞いたことあるが、意味は知らない」が51.2パーセントという結果に。まずは、認知度を高めることが先行課題だと思い、SDGsをより身近に感じてもらえるよう、町民を巻き込んで、広報紙にSDGs特集を掲載したり、啓発ポスターを作成しました。その後、「桑折町SDGs推進町民会議」を立ち上げ、町内の企業・団体等を対象にした「桑折町SDGs登録制度」を創設。これにより、一人一人の取り組みを「見える化」し、さらなる認知度向上に努めました。担当として、毎月登録企業・団体のもとへ取材に赴き、取組内容や今後の展望を聞き取り、インタビュー内容を広報紙に連載しています。小さな取組みではありますが、徐々に町内会から「ごみ減量のための講座を開いてほしい」と要望が出てきたり、小中学校でリサイクル活動や募金活動をする動きが出始めたり、少しずつ町全体でSDGsに関する取組事例が増えてきています。今後は、多世代を対象にしたSDGsに関する催しを企画し、SDGsを知ってもらう入り口を広げたり、既に取り組んでいる企業・団体・個人を繋ぐ仕組みをつくるなど、さらに町全体で手を取り合って、SDGsを推進していきたいです。



啓発ポスター等

## 優良事例応募項目

取組のポイント（3つの視点）	<p>①地方創生SDGsの視点 桑折町は「献上桃の郷」で有名な桃を中心とした農業が盛んな地域ですが、少子高齢化と人口減少が大きな課題となっており、人口減少を食い止める住民が住み続けられる魅力ある町づくりを進める必要があります。そのためには地域経済の活性化と住みたいと思える住環境や職場作りが不可欠であり、その実現を目指す取り組みの一つとしてSDGsの推進を掲げ、制度・金融面からその取り組みを支援することで、魅力あるまちづくりの実現を目指そうとするものです。</p> <p>②ステークホルダーとの連携 全町的な取り組みとして「桑折町SDGs推進町民会議」を立ち上げ、そこに個人・法人を問わず多様な主体を巻き込むことに成功。各々の取り組みや活動を取り上げ共有する場として機能させることで、地域の活性化に繋がることを意図しています。</p> <p>③モデル性・波及性 従来より登録制度を立ち上げる自治体は多いものの、対象が限定的となる傾向があると考え、全町的な取り組みとすることを意図して地域コンソーシアムを立ち上げた点が特徴的と考えています。 また、登録制度と連動することで、登録制度に登録した企業・団体の取り組みを地域コンソーシアム内へ還元することで、更なる取り組みの活性化を図ると共に、目的としている地域の活性化にもつながるものと考えています。</p>
----------------	---